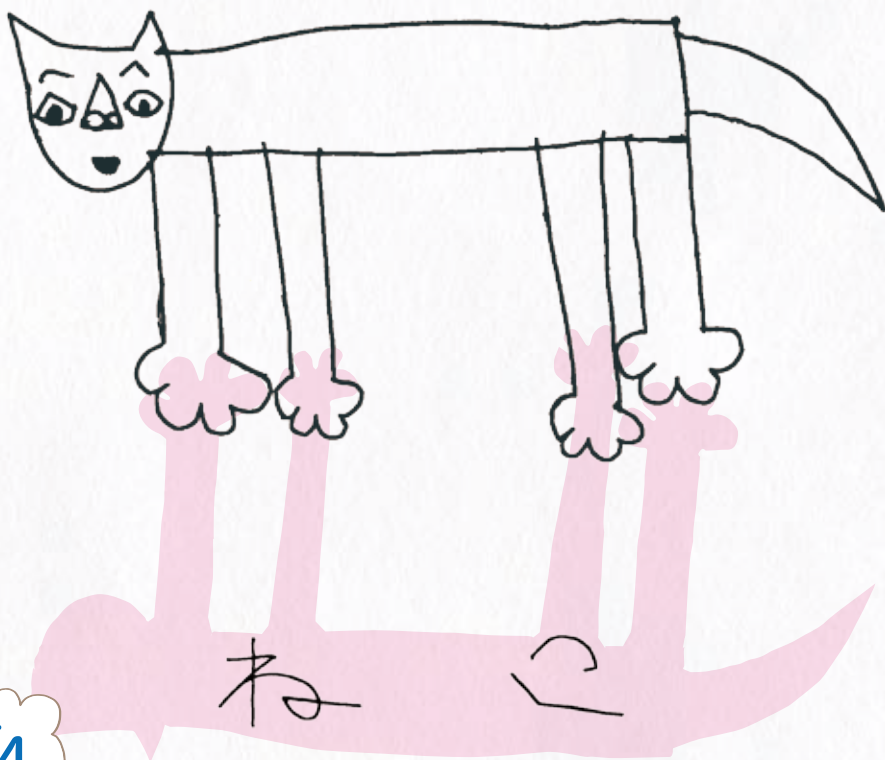


カルミア



Vol.
224

2024.Dec.



特集 - 園祭

園祭の準備	3
2024 園祭	5
園祭インタビュー	7

連載

おもいのツボ	10
對馬のさやまアルアル言いたい〜	11
ギャラリー	13



特集

園祭

さやま園祭。今年度入職して6年目となる私にとってのさやま園祭は「利用者」に楽しんでもらうものといった感覚。それはなぜかって？コロナ禍ということで、さやま園内でのお祭り、いや行事？にとどまっていたから。

入職して1年目のさやま園祭は近隣施設と合同のさやま園祭でした。ただ1年目ということもあり、利用者さんと迷子になることがないように周るので精一杯。きっと「さやま園祭とは」と話があったとは思いますが、「さやま園祭にかける想い」にまで気持ちがいていなかったのだと思います。

今年のさやま園祭はコロナ前と比較すると小規模とはなったものの、外部の方も招いての4年ぶりの園祭となりました。

「本当のさやま園祭って何だったのか…」今回のカルミアでは「さやま園祭にかける想い」にフォーカスをあてて、特集を組んでみました。



園祭準備

園祭準備 えんさいじゆんび
制作編 せいさくへん
「チョコバナナ」

園祭は大きな行事なので、沢山の準備が必要になります。廊下に飾る利用者さんたちのアート作品、季節を感じられる銀杏の木のオブジェ、毎年恒例のオリジナルTシャツ、とにかく多くのモノを作ります。

その中で今回はさやま園祭の名物となっている「チョコバナナ」にスポットを当ててお話ししたいと思います。

そもそも何で「チョコバナナ」なの？

昔のさやま園には園祭の名物といえば○○!?というものがありませんでした。何かいい案はないかと考えていた時に、栄養士が他のお祭りを見て「これだ！祭りといえばチョコバナナだ！」とひらめいて作り始めたのがきっかけでした。

← チョコバナナ製造工程



いちょうの
オブジェ



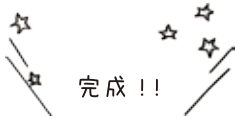
いちょうの葉を制作中

コロナ禍で園祭に外部の人が来れなかった4年間、試行錯誤しながら作り続け、利用者さんにも感想を聞き、バージョンアップしてきました。

初めは作るのに時間がかかってしまい、利用者さん分を作るだけでも大変でした。チョコバナナの顔のパーツを市販のお菓子に変えることで、時間短縮につながり、作り手によって個性豊かな表情を形づくれるようになりました。

今年度は、180本の「チョコバナナ」を作り大盛況でした。お値段も園長の計らいにより、破格の一本100円とお買い得。更に来年は250本を目指していきます。今後は利用者さんと一緒につくれることが、とても楽しみです。

今年遊びに来れなかった方は是非来年お越しください「チョコバナナ」を手にとって頂けたらと思います。



改良版
顔のパーツ





たくさん売るぞ!気合の入った
呼び込み、売り子の皆さん



陶芸作品は職員や来園者の方々から大好評



キーホルダーにプレスレット、ショルダーバッグ!たくさんあって選ぶ側も真剣です

さやま園祭 当日の様子

令和6年10月24日、待ちに待ったさやま園祭当日となりました。今年度は昨年度のようにコロナウイルスに開催を阻まれることもなく、無事に実施することができました。

午前中は利用者の皆さんを中心に、園内販売やスタンプラリーを楽しんでいただきました。また29名の利用者さんご家族も来園いただき、一緒にさやま園祭を楽しんでいただきました。東村山生活実習所の方々もクッキーやブラウニーなどの販売に来園していただき、園庭でひと息つく方たちもチラホラ。昼食にはさやま園祭定番の「チョコバナナ」を皆さん笑顔で堪能されていました。

午後にはさやま園を卒園された方々、



利用者さんのアイデアから生まれた作品たち。皆さんそれぞれに思い思いのものを購入し、楽しまれた様子でした



園庭にはテントを設置。休憩のスペースとなりました



さやま園祭定番、チョコバナナ



輪投げ・魚釣りに挑戦。
皆さん、景品獲得を目指し真剣そのもの

またさやま園付近の地域の方たちなど、約60名が来園されました。地域の方たちの中には、コロナ前のさやま園祭を知っている方もたくさんいらっしやり、「以前のような賑わいのあるさやま園祭に戻るいいですね」といった言葉などをいただきました。

利用者の皆さんも交代でチョコバナナや手芸・陶芸作品の売り子として奮闘！皆さん張り切って仕事をこなし、利用者さんにとっても良い機会となりました。

3施設合同で行っていた頃の賑わいまでとはいきませんでした。だんだんと外部の方に開かれたさやま園祭へと戻ってきています。来年度はどのようになるでしょうか。

もっとたくさんの人たちに来場してもらえる「さやま園祭」になりますように。



今回、何十年も続いてきた
さやま園祭の歴史を辿るため^{たど}
職員2人に当時の様子、想いを
インタビューしました。

インタビューを
受けた職員

西川主任(勤続33年目)
藤原主任(勤続27年目)

広報 今年のさやま園祭は5年ぶりの地域開放となりましたがまず終わっての感想を聞かせてもらえますか？

藤原 さやま園を知って頂ける開放行事なのでたくさんの方が来園されホツとしています。「たくあんありますか？陶芸作品ありますか？」とコロナ前にもおそらくお越しいただいた方もいらっしまったようですね。うれしかったです。

広報 今年度の開催で一番苦慮した点などあれば詳細に教えて下さい。

藤原 感染症対策をしながらの実施だったので、開催したらよいかと悩みました。またここ5年に入職した職員たちも大きな行事に慣れていなかったり、利用者さんだけでなく地域の方も楽しんでいただけにはどういったかたちが良いか話し合いました。

広報 従来のさやま園祭ってどのようなものだったのですか。

西川 メインイベントは「バザー」（地域のおうちにバザーで販売できるものを利用者さんと回収にまわったり、お知らせのビラ配りをしたり・・・）とさやま園オリジナルたくあんの販売でした。バザーは利用者さんと一緒に衣類や雑貨・食器に値付けをしたり、

たたんで包装したり、夜まで終わらなかつた
ですよ。職員たちはファッションショーし
ちゃったりして・・・笑。

藤原 そう、そう！

製菓をしていた生産班は、クッキー・洋菓子
にも力を入れていましたね。毎年お目当ての
クッキーを買いにくるお客さんも沢山いらし
たので、準備はかなり前からおこなっていま
した。園庭に出す模擬店は焼き団子・豚汁・
カレー・おでん・焼きそば・ホットドック・わ
たあめ・ポップコーンなど様々なメニューで賑
わってました。そのくらい規模の大きい行事
だったので、当日は開始前から歩道に長蛇の
列ができ、とつてもにぎやかなお祭りでした。
広報 今回のカルミアは「園祭」を特集して
掘り下げる企画なのですが、お二人にとって
園祭とは？何のために続けているんでしょう
か？

藤原 「地域あつてのさやま園」。知ってもら
うことでうまく地域で生活していくことがで
きるのの考えが根底にあります。

私が入職した当時は現在利用者がよく訪れて



広報

對馬副園長

西川主任

藤原主任

園祭の話聞く様子。着任2年目の對馬副園長も昔の話に興味津々。

いる近所のドラックストアもなければコンビニもない時代。それこそ今は寂^{さび}れてまったけど、近くの商店街で本や折り紙を買ったり、ヘアカットも多くの方が地域の美容室を利用していました。そういった交流の中で「さやま園」、またさやま園で生活する皆さんを知ってもらうことができ、助けられたことがたくさんありました。(普段から利用していた商店街の本屋にひとりで出掛けてしまった利用者さんを探していたとき、直接さやま園に連絡をもらったこともありました。とつても助かりました。)

西川 やはり『地域で一緒に暮らしてくれたため』でしょうか。今年でさやま園設立60年。

この開放行事をなんとか地域のなかに根付かせたい、続けることで顔見知りになれる。でも、私が先輩たちからいつも言われていた言葉は、『とにかく職員が全力で楽しむこと！』でした。準備はとてつもなく忙しかったけど、その時間はいまとなるとすごく貴重で有意義でした。地域から来てくださる方たちも障がいがある・ない関係なく温かい方ばかり、そういう場をつくり・広げていくことが園祭を続けていく意

味かもしれせん。

広報 コロナ流行時から、園内行事に変更しておこなってききましたが、さやま園を知ってもらう機会も少なくなっていました。高齢化に伴い、地域に出ることも少なくなりつつあります。だからこそ「さやま園祭」は多くの人に足を運んでもらい、さやま園で生活する皆さんを知ってもらうことが大切だと思います。今後もしっかり継承し続けていきたいと思いましたが。

広報 最後に今後のさやま園祭の展望を聞かせて下さい。

藤原 できるのであれば、昔のように丸一日を通して開催したいですね。利用者さんも地域の方も『ごちゃまぜ』になり交流ができるとう嬉しいです。

広報 貴重な思い出からエピソードトークも聞けて嬉しかったです。今もなお、さやま園が明るく活気があるのも、ずっと昔から続いてきた「職員の想いのつよさ」みたいなものなんです。来年のさやま園祭も楽しみですね。ありがとうございます。



おもいのツボ

「おもいのツボ」は毎号さやま園の職員がその時自身のツボにきた出来事や感じたことを書く企画です。

さやま園では、毎日あちこちでほっこりするようない出来事に遭遇そうくうします。

車椅子の利用者さんが懐メロを歌っていると、普段静かな別の利用者さんが絶妙なタイミングで合いの手を入れている、利用者さん同士でなぜか褒め合っている、利用者さんがさりげなく書いてある文章がすごく深い言葉だった、忙しい中でも大笑いしながら明るく支援をしている職員さんを見かける・・・etc
ほっこり案件の発生は、利用者の方、職員の方問わずです。

「ほっこり」の意味を調べてみると「いかにも暖かそうなさま」「心がやすらぐ」という意味だそうです。「ほっこりする場面」とは、ありのままのその人の魅力が垣間見えた瞬間かもしれません。そして、見つけれず埋もれているほっこりがたくさんあるのだと思います。

以前、児童発達の専門家の方から印象的なお話を聞きました。こどもの発達に一番大切なことは「これでいい」と認めてもらう経験の積み重ねであり、ありのままの自分を受け入れてもらうことが、発達に大きな影響を及ぼすのだそうです。

それは、子どもだけの話ではないはずです。すでに人生を折り返している自分でも、「あなたの苦手な部分を克服するためにこれを頑張りなさい」と言われるより、ありのままの自分を認めてもらい褒めてもらった方がやる気が出そうです。

ですので、ぜひ、さやま園のみなさんが持っているたくさんさんの「ほっこり」その人ありのままの魅力」を発見し、みんなで共有して増幅させていきたいです。

ほっこりセンサーの感度をあげるために、ほんの少しの違う視点、そして、心の余裕を持つことを心掛けていきたいと思っています。

副園長 対馬の

さやま アルアル 言いたい～!

これはさやま園の特徴?傾向?文化?愛すべきさやま園
アルアルを着任二年目の副園長目線で紹介していきます。

さやま園の職員は、身近で安価な商品を行く通りにも
アレンジするのが上手。利用者さんの生活の過ごしやす
さに、職員同士のわかりやすさに。特に養生テープは館
内いたるところで使用されています。

く何かあったら養生テープく

養生テープ。一般的には建築現場での傷防止、引越し等で簡易に止めることに使用されるだろう。ガムテープより粘着性は弱い。はつてもはがせる、はがした痕あとがつかない、アルコール消毒でふけることが、さやま園で多用される理由なのだろう。

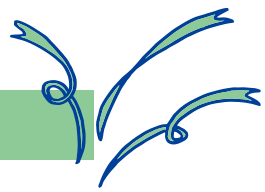
立つ姿勢がよくなるように、利用者さんの目線の高さでにつこり励ましてくれる、支援員デザインのキヤラクター「ゆきちちゃん」が応援。

書類のクリアファイルにはれば、大きくタイトルを記入できる付箋ふせんに早変わり。

お洋服にも貼って用途をわかりやすく。凹凸がある場所にも水場が近くても、注意ポイントを示せる。床にテープと文字で歩行器の停止位置の目印に。

さらには、小さな蟻ありが大量発生したときに、当たり前のように「養生テープもってきて」と駆除くじょに活用していて驚いた。

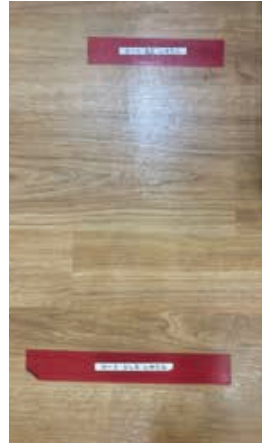
養生テープの紹介になってしまいが、活用できるものをアレンジするプロが多いことが、さやま園のアルアルなのです。



さやま園の養生テープ活用例



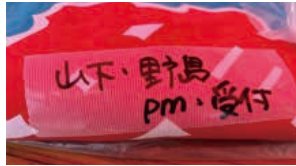
床の注意が必要な場所に大きく貼って



カートを置く目印に



家具にも回収箱にも
養生があれば分かりやすい



洋服にも貼ります



テープのキャラクターゆきちゃん



なんと!! 水場でも活躍

養生テープマスター
西川さん!!



對馬





さやま園に『かどっこギャラリー』と
称し利用者さんの作品を展示している部
屋があります。ご家族や外部の方にも作
品を観ていただける場になっています。

展示は一人もしくは一グループ活動に
フォーカスして、その作品とともに人
なりも紹介しています。普段あまり観る
ことのない利用者さんの作品を改めて展
示することで、いつもの支援では見えな
かったその人の新たな一面を発見する機
会にもなっています。展示内容は3ヶ月
ごとに変わります。

カルミアのギャラリーではその様子も
ご紹介していきたいと思えます。

今号は7月から10月まで展示されてい
た橘さんの作品をご紹介します。

橘さんの作品について

橘さんが描くモチーフは一貫して「お花」
です。

はじめの頃の作品は一眼で花とわかる絵で
したが、現在は以前描いていたものとは違い、
一見お花とはわからない、抽象画のような作
品になっています。橘さんに確認すると、こ
れも「お花」とのこと。確かによくみると、
お花の一部を拡大したように見えます。

また最近、職員やまわりの利用者さんの
影響もあり、その絵に
テープを貼ることも増
えてきました。

「お花」の絵は日々進
化しています。





橘さんってどんな人？

いつも陽気に話しかけてくれる橘さん。

お洋服がとっても好きで会うたびに職員や利用者のファッションチェックが始まります。

「この服可愛いねえ〜どこで買ったの?」とお褒めの言葉をいただく時もあれば「やだあ、こんな服着ちゃだめよ!!」と辛口なコメントの日も・・・

そんな橘さんの毎日のコーディネート写真を納めてみました。

ファッションの色合いも、橘さんの絵に通ずるところがあるのかもしれない。



職員募集!

さやま園では私たちと一緒に働いてくれる方を募集しています。
ご興味のある方はホームページのお問い合わせフォームやお電話でご連絡ください。

職種：生活支援員

●常勤職員（契約社員/1名）18歳~70歳まで 月給¥238,300
シフト制による週休2日（夜勤あり）

●パート職員（1名）18歳~70歳まで 時給¥1,225~
シフト制（時間相談可）

*未経験者可(研修が充実しているので安心して働けます。) *正社員登用あり



さやま園のホームページの
求人に関するお問い合わせ
を選択し、ご連絡ください。

<https://sayamaen.com/new-contact>

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

リクルート担当：三瓶^{みかめ}・加川^{つしま}・對馬

ボランティアさん募集!

さやま園では様々な活動をしています。
そのお手伝いをしてくださる以下のボランティアさんを募集しています。
ご興味のある方はご連絡ください。

1

作業内容：季節に合った装飾作り
活動日時：平日の13:30~15:30

- ・利用者さんが余暇の時間に制作する、季節の装飾作りの土台となるものを制作していただける方を募集しています。
- ・活動に入る前に、職員より、活動の流れ等を簡単に説明します。
- ・ボランティアの皆さんには、下絵を描いてもらったり、装飾のパーツを作ってもらったり、利用者さんが簡単に制作に取り掛かりやすいよう装飾作りの準備をお願いしたいです。

2

作業内容：利用者さんの手芸作品の仕上げ作業
活動日時：月曜日・金曜日 13:30~15:30

利用者さんの手芸作品の仕上げ作業をしていただける方を募集しています。作品は刺しゅう・カバン作り等様々です。作品に応じて手芸の内容をお伝えします。



寄付のお願い

依頼品目：消毒用タオル

感染症予防のための園内消毒に使用する布が不足しています。いらなくなったタオルを**手のひらサイズ**に切ってご持参いただけると助かります。

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

ボランティア担当：長田^{おさだ}
寄付担当：加川^{つしま}・對馬

